

開講専攻	環境・生命工学専攻 (生命工学分野)	前橋工科大学 シラバス			
科目名	生命情報学論B	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		1・2・3年次	選択	54000201/54000202	
担当教員	井田憲一、坂田克己、鍾寧、本間桂一、佐藤眞木彦、福地佐斗志、中村建介	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期/後期		
授業の教育目的・目標	生命情報学論Aで行った調査研究から問題の定式化までの成果を基に、問題の解決方法及びその実用化を探る。またその成果を纏めて公開の場で発表する。この過程でプレゼンテーション力を向上させる。				
専攻の学習・教育目標との関係	生命工学分野における情報科学の利用における問題の解決方法及びその実用化を扱う。また成果を関連学会・研究会などで発表し、論文として投稿を目指す。				
キーワード	情報解析、プレゼンテーション				
授業の概要	ゲノム情報、タンパク質情報、脳情報、遺伝的アルゴリズムなどの生命情報及びそれを応用した知的情報処理に関し、問題の解決方法及びその実用化について関連論文の精読などを通して詳細に教授する。				
授業の計画	第1回: ガイダンス 第2回: 論理展開の整理 第3回: 論理展開の整理 第4回: 課題の要旨の整理 第5回: 研究方法の整理 第6回: 研究方法の整理 第7回: 実験結果の整理 第8回: 実験結果の整理 第9回: 課題のディスカッションの整理 第10回: 課題のディスカッションの整理 第11回: プレゼンテーション準備(1) 第12回: プレゼンテーション準備(2) 第13回: プレゼンテーション準備(3) 第14回: プレゼンテーション 第15回: プレゼンテーションの質疑に関する整理				
受講要件	指導教員との議論に必要な基礎知識が必修である。				
授業方法	受講生による文献調査と紹介および研究テーマ設定と課題解決の進め方に関する発表を行い、その内容についての議論を行う。				
テキスト・参考書	主・副指導教員の指定する文献、テキスト、資料を用いる。				
成績評価	課題取り組み、発表状況、議論内容等を総合的に評価する。				
履修上の注意	上記の能力の向上を図ることを念頭において、主体的に参加すること。				
オフィスアワー	教員と打ち合わせを行い、随時。				